

各位

2021年7月7日
矢作建設工業株式会社

熱中症リスクを軽減するユニフォームの導入について

～夏場の労働環境の改善に向けた取り組み～

矢作建設工業株式会社（本社：名古屋市、代表取締役社長 高柳充広）は、SDGs への取り組みの一環として、工事現場の労働環境改善を目的に新たにハーフパンツのユニフォームを導入しましたので、お知らせいたします。

年々厳しさを増している夏場の暑さにより、屋外で作業する機会が多い建設業従事者の熱中症リスクは高まっています。当社では、熱中症対策を始め工事現場の労働環境を改善するため、新たにハーフパンツのユニフォームを導入しました。このハーフパンツのユニフォームは、インナーパンツと組み合わせて使用することで、安全性と通気性を確保し機能性も向上するものです。また、ハーフパンツのユニフォーム導入に合わせて、ファンジャケット（空調作業服）も袖を長袖や半袖に調整できるようリニューアルしました。

これら新しいユニフォームの導入により、作業内容や天候などに適したユニフォームを選択することが可能となり、様々な環境下において安全を確保しながら快適に作業ができるようになります。

引き続き、当社は工事現場の安全確保と、社員一人ひとりが生き生きと働くことができる労働環境整備に取り組んでまいります。



▲左）ハーフパンツと長袖のファンジャケット 右）ハーフパンツと半袖のファンジャケット

以上